

みずほマーケット・トピック(2019年5月28日)

円安リスクの点検~円高リスク高まった5月~

毎月末同様、メインシナリオに対するリスク点検を行う。繰り返し論じてきているように、本欄のメインシナリオはあくまでドル安およびその結果としての円高であるため、最大のリスクは円安方向のリスクである。それゆえ円安リスクに焦点をあてた上で点検を進める。結論から言えば、リスクの所在は年初から全く変わっていない。当面、米中貿易戦争や英国の EU 離脱(ブレグジット)についてヘッドラインが交錯し続けようが、もはや「短期的に解決しない」という問題に対し市場は不感症になっている。この 2 つの問題が完全解決に向かうことこそが非常に大きな円安リスクだと本欄では警戒してきたが、5 月を経てその可能性は著しく低下した。とりわけブレグジットについては「次期首相の下でノーディール離脱」という声がにわかに強まっており、もはや再国民投票を経て円安に振れる展開を心配するような地合いではない。リスクシナリオに備えることは重要だが、米金利の絶対金利水準が下がることによって、ドル建て資産から資本が流出する展開の方が合理的に予想されるものである。

~「短期的に解決しない」問題に市場は不感症~

毎月末同様、メインシナリオに対するリスク点検を行いたい。繰り返し論じてきているように、本欄 のメインシナリオはあくまでドル安およびその結果としての円高であるため、最大のリスクは円安方 向のリスクである。それゆえ円安リスクに焦点をあてた上で点検を進める。結論から言えば、リスクの 所在は年初から全く変わっていない。やはり年後半に期待される中国と欧州の景気回復が同時期 の米経済の失速を相殺するほど十分なものになるかどうかがポイントだろう。リスクを検討する前にメ インシナリオを確認しておく。本欄では「FRB の正常化プロセス終了に伴い米金利およびドル相場 が下落。結果として円相場も騰勢が避けられない」といったストーリーを基本としてきたが、この大枠 も修正の必要を感じない。既にFF 金利先物が織り込む年内の利下げ確率は70%を優に超えてい る。スポットの為替市場がそこまでの確信を持っているとは考えにくいが、もはや「次の一手」が利上 げではないことは確かであり、景気拡大局面がいよいよ過去最長に達する事実も加味すれば、米 金利低下を前提として為替予想を策定すべき局面と考える。予測期間中、FRB の政策は「よくて現 状維持。場合により追加緩和」が基本線であり、米金利上昇を当て込んだ円安シナリオを描くことも 必然的に難しく、当面は「FRB の正常化プロセス終了と共に米金利・ドルが全面的に低下、結果と して円高・ユーロ高が進む」という基本認識に変わりはない。当面、米中貿易戦争や英国の EU 離 脱(ブレグジット)についてヘッドラインが交錯し続けようが、もはや「短期的に解決しない」という問 題に対して金融市場は不感症である。それよりも米金利の絶対金利水準が下がることによって、ド ル建て資産から資本が流出する展開の方が合理的に予想されるものだ。

~「米経済の明確な失速」に構える局面~

こうしたメインシナリオにとっ て考えなければならない円安リ スクはどこにあるのか(表)。本 欄では「米経済が意外にも堅 調で FRB の正常化も継続でき てしまう」という展開を最も警戒 してきた。「中国や欧州の景気 減速に底打ち感が見られる 中、気をよくした FRB が再び正 (資料)筆者作成

警戒したい円安リスク

—				
	具体例	象徴的には・・・	可能性	
	想定外の米経済堅調	上がらない失業率、持ち直 す株価やISM景気指数	中~高	
	トランプ政権の保護主義撤退	米中貿易戦争の完全解決	低	
	ブレグジット方針の撤回	再国民投票の実施	低~中	
	日銀の追加緩和	マイナス金利付資金供給	低	
	中国/欧州の再加速	GDPの加速	中	

常化に手をつけるリスク」と読み替えても良い。そういった意味で①と⑤は因果関係にもある。理由 はなんであれ、市場心理が改善したことを受けて中央銀行が安易に正常化への意欲を示し始めて しまうという展開は洋の東西を問わず懸念される。実際、FRB のハト派傾斜を背景として年初からの 株式市場は堅調そのものであり、家計部門への資産効果波及を通じて米経済が持ちこたえるとい う展開は視野に入る。世界的な景気回復サイクルが一旦途切れていることを踏まえれば米経済だ けが勢いを取り戻してくることは難しいはずだが、消費や雇用などで意外な好調さが続いているの も事実であり、米金利やドルの下落を読む筋にとっては不穏な空気は感じる。過去を見れば米イー ルドカーブの長短逆転(逆イールド化)から株式市場が大きな調整を迎えるまでに 1~2 年程度の ラグがあっても不思議ではない。本欄では繰り返し論じているが、これは景気停滞に応じて FRB が 引き締めから緩和へ舵を切ったことによる一種のボーナス期間のようなものではないかと察する(な お、10年と3か月物の金利差逆転は3月下旬に起きている)。1~2年という時間は長いが、「いず れ大きな調整が来る」と分かっているのに敢えてここから株を買う向きがどれほどいるだろうか。また、 米景気拡大が7月には過去最長を更新する中、改善の糊代が小さいことに議論の余地は無い。

こうした中、真っ当に考えれば円安に進む可能性は高くないと考えるが、「米経済の明確な失速 なし」に円高シナリオの実現もないことは事実である。NY 連銀の試算する今後 12 か月以内に景気 後退が訪れる確率は4月時点で27%に達している。同確率がここまで上昇して景気後退に陥らな かったケースの方が稀であり、少なくとも米金利上昇に構える局面ではないと思うのだが、大統領 選挙を前にトランプ政権が刺激的な一手を打ってくる可能性も視野に入る。経験則に反し、米経済 がここからさらに加速する展開は大きな円安リスクである。

~米保護主義撤退も英再国民投票も可能性は低下~

前月の本欄では政治面から不安視される円安リスクとして「トランプ政権の保護主義撤退(≒「米 中貿易戦争の完全解決」)と「再国民投票によるブレグジット方針の撤回」を挙げていた。しかし、5 月を経て、双方の可能性はかなり低くなったと言える。追加関税の完全撤廃まで囁かされた米中貿 易戦争は結局、決裂に至り、今もその着地は見えていない。むしろ、残り約 3000 億ドルの対中輸 入全額について25%課税という懸念も浮上しており、状況は悪化している。本欄では執拗に論じて いるが、米中貿易摩擦が大統領選挙を睨んだポーズだとすれば、少なくとも年内に完全決着を見 ることは無いと考えるべきだろう。トランプ大統領は再選を睨み「中国の不公正貿易に立ち向かう大

統領」を演じたいはずであり、中国に対しては「生かさず殺さず」の基本戦略を続けるはずである。 後者についても、5 月下旬、メイ首相が捨て身で議会を説得する中で遂に再国民投票の可能性に も言及したのだが、野党がこれに応じることは無かった。6 月 7 日で首相辞任を表明しているメイ首 相の後任はボリス・ジョンソン元外相を筆頭に強硬離脱派が名を連ねる。誰が首相になろうとハング パーラメントの下ではメイ首相と同じ苦労を強いられるだろうが、強硬離脱派は再国民投票を「離脱 撤回の一里塚」と見做している節があるだけに、次期政権の発足まで睨めば、再国民投票の可能 性は相当低くなったと考えるべきだろう。むしろブレグジットに絡んでは円高リスクの方が不安である。

~本邦発の円安リスク:基本的に不安はないが・・・~

そのほか本邦発の要因がドル/円相場の潮流に影響を及ぼすことは無いと思われるが、敢えて言えば日銀の挙動には注目したい。3月の日銀金融政策決定会合で総括判断が(輸出・生産の下方修正を交えて)冗長化し、4月には政策金利のフォワードガイダンスが「少なくとも 2020 年春ごろまで」は極めて低い長短金利水準を維持するとの文言に修正された。この解釈に関しては、現行の強力な金融緩和が「少なくとも 2020 年春」まで続けられ、さらに長期化する可能性を示唆しているとの読みが多い。それが近々に決断される可能性は今のところ低そうだが、予測期間中の「次の一手」が引き締めではなく緩和であることは濃厚であろう。とりわけ、消費増税と絡めて追加緩和を模索する動きや期待が盛り上がる可能性はある。しかし、仮にそうであっても円相場を押し下げる力は取るに足らないものだろう。基本的には FRB もハト色を強めており、政治的な圧力の影響がどれほどあるかはさておき、予測期間中に強気に転じる雰囲気はあまり感じられない。変動為替相場の方向感は基本的に米国の通貨・金融政策に規定される部分が大きいため、日銀の挙動が大勢を動かす不安はないが、市場の想像の枠外から「一手」が飛び出した場合、円安に飛ぶリスクは否めない。

~円高リスクが高まった5月~

以上が本欄で警戒する円安リスクだが、リスクは当然円高方向にも拡がっており、むしろそちらの方が大きいとすら思える。市場では往々にして「悪いこと≒円高」で処理されるため、これを逐一挙げると枚挙に暇がない。毎月述べていることだが、最も分かりやすい展開として、これまでに列挙してきた円安リスクと真逆の展開を想像してみると良い。米国そして中国や欧州が想定外に大きな失速感に見舞われ FRB が利下げや量的緩和の復活に追い込まれる場合や米中貿易戦争が一段の激化を辿る場合などである。はたまたブレグジット交渉が完全に決裂し、合意なし(ノーディール)離脱が不可避になる場合にも注意が必要だろう。これらのうち、少なくとも貿易戦争の激化とノーディール離脱の確率は 5 月、上昇したと言って差し支えあるまい。総じて「円安リスクよりも円高リスクの方が高そう」という指摘について、異論を持つ向きは多くないと思われる。

いずれにせよ各種機関の見通しを見れば分かるように、2019 年の世界経済については強気派にしろ、弱気派にしろ、「失速は不可避」という点では一致している。世界経済のピークアウトがそこかしこで囁かれる今だからこそ、今後、「悪いこと」は放って置いてもそこかしこで頻発する可能性が高く、円相場は騰勢を強める機会が沢山あるというのが直感的に筆者の思うところである。そのような中で円安リスクは、「敢えて」考えることで初めて出てくる話であり、5 月はその思いが一段と強まった。2019 年後半の世界経済は、米国についてはトランプ減税の効果剥落によって失速する一方、

みずほ銀行 | みずほマーケット・トピック

これまで失速感を強めていた中国や欧州の立ち上がりが鮮明化するという読み筋が従前より指摘されてきた。「米国の弱さ vs.中国&欧州の復調」といった大枠が本当に実現するのかどうかが、波乱なく 2019 年を通過できるかどうかの要諦となる。もちろん、中国や欧州の復調は重要な動きと思われるが、筆者は金融政策の巻き戻し余地が大きい米国発で潮流が形成されるため、その流れは他国・地域の動向でカバーしきれないと考えている。かかる状況下、米金利やドルが復調し、これに円安が追随するような展開は予想が困難というのが引き続き本欄の基本認識となる。

国際為替部 チーフマーケット・エコノミスト 唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065) daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ backnumber.html

2019年3月72日 CORD高速車等金融車を置いていると素をシナリアの目的で 2019年3月73日	然 行在日日	.co.jp/forex/econ.html (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ backnumber.html 過去6か月のタイトル
2019年8月94日	発行年月日 2019年5日27日	
2019年8月22日 フレアジックの40~478年、高度設定版、終命の月子 2019年8月21日 コーロ機の設施といんの表現の10年8月21日 コーロ機の設施といんの表現ない。世紀 2019年8月11日 最近後の開始といんの表現を開から、1019年8月11日 最近後の開始といると、日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日		
2019年5月32日		
2019年5月21日 コーロー連続の開発に下ルたから入口の大い。 2019年5月12日 ままが、円曜のの高校が知りていて、日本では高校的である。 2019年5月12日 ままが、円曜の高校が知りにいて、日本では高校的である。 2019年5月12日 ままが、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では		
2019年5月11日		
2019年5月11日		
2019年5月15日		
2019年5月16日		
2018年5月18日 - 米世島塩は東京東美へ〜の自己本面の20・7~ 2018年5月18日 - 東京原(中央政権の対した)。 東京原(中央政権の対した。 2018年7月2日 - 東京の「中央政権のでは、日本ので		
2019年3月10日		
1900年4月912 2月12		
2019年4月24日		
2019年月20日 選索のアル重相 過去をおいません 2019年月20日 102歳を発現に考えられては知识の意味 2019年月20日 2019年月20日		
2015年月月2日 内部かり上海田県 - 潜する・グロダの一手は~ 2015年月月2日 の報を登場地で表の対力を立てし、無限(2019年月月2日 大田市の大田市の大田市の大田市の大田市の大田市の大田市の大田市の大田市の大田市の		
本料係人投資金の分外資金の一条時間という。数十一次 1994年1月19		薄氷のドル高相場~賭けるべき「次の一手」は~
2019年4月32日	2019年4月23日	10連休を契機に考える休日増加の功罪
2019年4月19日		本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年3月分)
2019年4月19日 相次で1909年20一条11期間を記せたり、 2019年4月19日 相次で1909年20一条11期間を記せたり、 2019年4月19日 日本で1909年20日本 日本で1909年20日本 日本で1909年20日本 日本で1909年20日年 日本で1909年20日日 日本で1909年20日年 日本で1909年20日年 日本で1909年20日日 日本で1909年20日年 日本で1909年20日年 19	2019年4月22日	円安リスクの点検~年後半は「米国 vs. 欧中」~
2019年4月15日 円皮で配金の子に関連したい 円皮の一角・10年4月15日 円皮の一角・10年4月15日 円皮の一角・10年4月15日 円皮の一角・10年4月15日 円皮の一角・10年4月15日 円皮の一角・10年4月15日 円皮の一角・10年4月15日 円皮の一角・10年4月15日 円皮の一角・10年4月16日 円皮の一角・10年	2019年4月19日	週末版(ユーロ圏PMIを受けて~「底打ち」しても正常化は別の話~)
2019年4月15日 「食産の指わ」と指摘した場下・回復的なビーク~ 2019年4月15日 「お放け、日本 日本 日	2019年4月18日	ドル高を容認できない中国の経常収支
2019年4月19日	2019年4月17日	相次ぐECBの「次の一手」に関するヒント
2019年4月12日 表版(や)は上間正して設外したい場末」、健康に口脂染色素をサイベ) 2019年4月9日 加に世界長年夏息上、「別願工で企業と野長の交換」 2019年4月9日 カルビサルを発き返しる人の部でもおりまた。 2019年4月9日 カルビサルを発き返しる人の部でもおりた。 2019年4月9日 カルビサルを発き返しる人の部でもおりについた。 2019年4月9日 東京版(ドイツがバス引き、なりでは、カーリーのの形とのでは、アイリーのの形とのでは、アイリーのの形とのでは、アイリーのの形とのでは、アイリーのの形とのでは、アイリーのの形とのでは、アイリーのの形とのでは、アイリーのの形とのでは、アイリーのでは	2019年4月16日	「改善の極み」を指摘したIMF~循環的なピーク~
2019年4月18日	2019年4月15日	ECB政策理事会~階層化とTLTRO3の取り扱い~
2019年4月9日 円橋の基礎的密語機構と「日朝」がもたらすレンジー 2019年4月5日 大足グリード投資を含めるトで担当ない。	2019年4月12日	週末版(やはり直面した「欧州らしい結末」~臨時EU首脳会議を受けて~)
2019年4月8日 アグシンド特別を認める&~協計首新設施を削いで 2019年4月8日 数度版(ドウバドバカドカム 2019年4月8日 数度版(ドウバドバカドカム 2019年4月8日 2019年4月8日 だらはてくて大会利を開催してものかっ 2019年4月1日 7歳またよう経費を収まるのまた。 7歳またものかっ 7歳まためのかっ 7歳まためのかっ 7歳まためのかっ 7歳まためのかっ 7歳まためのかっ 7歳またものかっ 7ままたものかっ 7ま	2019年4月10日	IMF世界経済見通し~「副題」で見る世界経済の変遷~
2019年4月3日 表版に「イケンがトムリザらユーロ圏の選挙と大師れたドイツ製業業受法~ 2019年4月3日 分別準備が高速で支援協会を 分別準備が高速で支援協会を 分別準備が高速で支援協会を 1019年4月3日 日本を担保が支援協会と 1019年4月3日 日本を担保が支援協会と 1019年4月3日 日本を担保が支援協会と 1019年4月3日 日本を担保が支援協会と 1019年4月3日 1019年		
2019年4月3日 外資業機構成置の現状(19年12月末) 2019年4月2日 日の日本マイス全種性隔壁ではるのか? 2019年4月2日 万またた金型機能の変化 2019年4月2日 万またた金型機能の変化 2019年4月2日 万またた金型機能の変化 2019年4月2日 万少の民企組を表えて考える円型リスク〜 2019年4月2日 万次の民企組を表えて考える円型リスク〜 2019年4月2日 万少の民企組を表えて考える円型リスク〜 2019年4月1日 万次の用化した型配送する機能が支援。 2019年4月1日 万水の用化した型配送する機能が上がりまた。 2019年4月1日 万水の用化した型配送する機能が上がりまた。 2019年4月1日 万水の用化した型形の 万水の用化した型形の 万水の用化した型形の 万水の用化した型形の 万水の円の 万水の 万水の円の 万水の 万水の		
2019年4月3日 EOEIXマイナス金砂に限帯でするのか?		
2019年4月2日 円金原化を整理機と開催した例的問題を		
2019年3月28日 東京 村 大学		
2019年3月28日 円東リスクの直接〜数えて考える円安リスク〜 2019年3月28日 円東リスクの直接〜数えて考える円安リスク〜 2019年3月28日 円東リスクの直接〜数えて考える円安リスク〜 2019年3月28日 日東リスクの直接〜数えて海大人ピッナドロと景族後退の考え方 2019年3月18日 三十四回日本化・原工・以後み方 2019年3月18日 三十四回日本化・原工・以後み方 2019年3月18日 三十四回日本化・原工・以後み方 2019年3月18日 三十四回日本化・原工・以後み方 2019年3月18日 三十四回日本化・原工・以後み方 2019年3月18日 1019年3月18日 1019年3月1		
2019年3月28日 前少の左右や数えて考えら一致リスク~ 2019年3月28日 前少の左右を助えたなった下に必要を追回する方 2019年3月28日 前少の左右を助えたなった下に必要を追回する方 2019年3月18日 1 — 一圏の日本化(の正しい読み方 2019年3月18日 1 — 一圏の日本化(の正しい読み方 2019年3月18日 1 — 一圏の日本化(の正しい読み方 2019年3月18日 1 — 一圏の日本化(の正しい読み方 2019年3月18日 1 — 小屋の日本化(の正しい読み方 2019年3月18日 1 地方の南欧化)だを設立せる素種別・信義医質金 2019年3月18日 2019年2月21日 2019年2		
2019年3月3日 自分の係を設う大」となった下段と最後後週の考え方 2019年3月3日 直分の係を設う大」となった「おりたい」となった。 表別の日本にの正しい途み方 2019年3月18日 二一四回の日本化の正しい途み方 2019年3月18日 三十四回の日本化の正しい途み方 2019年3月18日 12019年3月18日		
2019年3月21日	2019年3月26日	円安リスクの点検~敢えて考える円安リスク~
2019年3月10日 大利信人投資家の分外資金フロー動向(2019年3月5) 2019年3月10日 江ー四個の日本化(の正しい込み方 2019年3月10日 1分の19年3月10日 1分の19年3日	2019年3月25日	「自分の尾を追う犬」となったFRBと景気後退の考え方
2019年3月18日		
2019年3月15日 選末版 (フレグシ)・交渉、当面の総か方・人質戦略は実功するのか?~) 2019年3月13日 フリザラカー13日 フレグシット (2度目の高地)と「新たな期限」 2019年3月13日 フレグシット (2度目の高地)と「新たな期限」 2019年3月15日 大学の人が良富ののが地質をフロー動画 (2019年1月分) - 本野風人投資家のが地質をフロー動画 (2019年1月分) - 選末版 (2019年3月5日 米金利上を対象のが地質をフロー動画 (2019年1月分) - 選末版 (2019年3月5日 米金利上学を上ル高を地下ドル化した世界 2019年3月15日 スポーツの上が下が下が上が上が野型~ 2019年3月16日 選末版 (全地改革を地で、大学など、中で、大学など、大学など、大学など、大学など、大学など、大学など、大学など、大学など		
2019年3月14日 地方の開版化に登場記せる素種別一律最低資金		
2019年3月13日		
2019年3月12日 本邦個人投資家の対外後分2つ一動向(2019年1月分) 本邦個人投資家の対外後分2つ一動向(2019年1月分) 2019年3月8日		
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		
2019年3月8日 2019年3月8日 2019年3月4日 大蔵銀のドル南に大田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・		
2019年3月5日 米金和上昇&ドル高を阻むドルにした世界」 2019年3月1日 湖末版(金融政権・選に落ち急いた年 14002か) 間か 互いに「住む世界が適う」様相~) 2019年2月21日 中衛 14002から 14002から 18002から		
2019年3月4日 大統領のドル高/1人制~不安な「相手国が悪い」という理屈~ 2019年2月27日 米中貿易協議再延期を受けて一現状と展望の整理~ 2019年2月27日 円安リスクの高後へ想定外の米経済警測が低(円安~ 2019年2月27日 実施 2019年2月27日		
2019年3月1日		
2019年2月27日		
2019年2月25日		
2019年2月22日		
2019年2月21日 「FOMC議事業階~「patient」の舞台業~ 2019年2月18日 「特定する日米欧中観への期待と為替相場 2019年2月18日 「連末版(米小売売上高ショックをごう読むか?~懸念される逆資産効果~) 2019年2月18日 「連末版(米小売売上高ショックをごう読むか?~懸念される逆資産効果~) 2019年2月18日 「連末版(米小売売上高ショックをごう読むか?~懸念される逆資産効果~) 2019年2月18日 「ドルノ円相場は新常態にあるのか? 2019年2月18日 「ボルノ円相場は新常態にあるのか? 2019年2月18日 「大東FOB総裁レースの現状整理 2019年2月18日 「大東FOB総裁レースの現状整理 2019年2月1日 「大東FOB総裁レースの現状整理 2019年2月1日 「大東FOMCを受けて~正常化プロセスの終了~ 「移電ファースト」という誤解を招きかねないB/S権小戦略 2019年1月31日 「FOMCを受けて~正常化プロセスの終了~ 2019年1月31日 「「株電ファースト」という誤解を招きかねないB/S権小戦略 2019年1月31日 「大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大		
2019年2月18日 自動車関税を前に考える日欧の立ち位置 2019年2月18日 伊滞する日米欧中館への期待と為替相場 2019年2月15日 温末版(米小売先上高ショックをどう膝むか?~懸念される逆資産効果~) 2019年2月17日 以下相場は新常地にあるのか? 2019年2月17日 東京の17年間場では、17年間では、		
2019年2月18日		
2019年2月15日		
2019年2月14日		
2019年2月13日		
2019年2月12日 変わりそうにない対外直接投資の測流 2019年2月7日 次期に08年2月7日 次期に08総数レースの現状整理 2019年2月6日 バイヤン地連銀総裁も認める景気減速の現状 2019年2月6日 バイヤン地連銀総裁も認める景気減速の現状 2019年2月6日 バイヤン地連銀総裁も認める景気減速の現状 2019年2月1日		
2019年2月5日 温末版(2018年の円相場の基礎的需給環境~対外証券投資への期待は難しそうな2019年~) 2019年2月6日 次期に日総数レースの現状整理~ 2019年2月5日 ブレグジ小交渉を巡るQ&A~今-度行う現状整理~ 2019年2月1日 温末版 2019年1月31日 FOMCを受けて~正常化プロセスの終了~ 2019年1月31日 FOMCを受けて~正常化プロセスの終了~ 2019年1月35日 「財産プアースト」という誤解を招きかわないB/S縮小戦略 2019年1月28日 日東一度以入の血液や一層のメインシナリオを混るがすもの~ 2019年1月28日 国末版(ECB政策理事金を終えて~「年内利上げ無し」を暗に認めたドラギ総裁~) 2019年1月24日 日銀金融政策決定金合を受けて~顕望1すら難しい状況に~ 2019年1月21日 対米貿易黒字ゼロ計画について~マッチポンプは終わらず~ 2019年1月11日 週末版(正常化どころではないECBを取り巻く近元~市場のメインシナリオは転換済み~) 2019年1月11日 週末版 2019年1月11日 週末版 2019年1月11日 週末版 2019年1月11日 週末版 2019年1月1日 2019年1月1日 2019年1月1日 2019年1月1日 2019年1月1日 2019年1月1日 2019年1月1日 2019年1月1日 2019年1月1日 2019年1月27日 2019年1月2月 2018年12月2日 2018年12月2日 2018年12月1日 2018年12月2日 2018年12月1日 2018年12月1日 2019年1月1日 2019年12月1日 201		
2019年2月7日		
2019年2月6日 バイトマン独連銀総裁も認める景気減速の現状 2019年2月1日 対上がジット交渉を巡る0&A~今-度行う現状整理~ 2019年1月31日 FOMCを受けて~正常化プロセスの終了~ 2019年1月29日 「株価ファースト」という誤解を招きかわないB/S縮小戦略 2019年1月28日 母史リスクの点後・円高のインシナリオを組るがすもの~ 2019年1月25日 週末版 (ECB政策理事会を終えて~「年内利上げ無し」を暗に認めたドラギ総裁~) 2019年1月26日 日報金融政策決定会合を受けて~「願望」すら難しい状況に~ 2019年1月21日 対米貿易黒字ゼロ計画について~マッチポンプは終わらず~ 2019年1月21日 対米貿易黒字ゼロ計画について~マッチポンプは終わらず~ 2019年1月18日 週末版に常化どころではないECBを取り巻く近況~市場のメインシナリオは転換済み~) 2019年1月19日 週末版に常化どころではないECBを取り巻く近況~市場のメインシナリオは転換済み~) 2019年1月1日 週末版 2019年1月1日 別界トップの相場観と静か過ぎる「波」 2019年1月1日 アジルは前れてからがバブル」という考え方について 2019年1月1日 次乱の幕開けの読み方~猪突猛進の円高スタート~ 2019年1月2日 「バブルは前れてからがバブル」という考え方について 2019年1月1日 次乱の幕開けの読み方~猪突猛進の円高スタート~ 2018年12月27日 3つの論点で要約する19年見通し 2018年12月27日 コルボ版(FOMCを終えて~新局面への第一歩、為替への影響は~) 2018年12月19日 「FOMCを前に読みたい自川元日銀総裁インタビュー本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年11月分) 2018年12月11日 週末版(ECB政策理事会を終えて~「高まる警戒」と「続く自信」~) 2018年12月11日 2019年、日半股のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月11日 2019年、世界経済の動所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月11日 2019年、世界経済の動所・利上げの真価が現れる年~ 2018年12月11日 選末版 2018年12月1日 選末版 2018年12月1日 選末版		
2019年2月5日 ブレグジット交渉を巡るQ&A~今一度行う現状整理~ 2019年2月1日 選末版		
2019年2月1日 週末版		
2019年1月31日 FOMCを受けて〜正常化プロセスの終了〜 2019年1月28日 「抹価ファースト」という誤解を招きかれないB/S縮小戦略 2019年1月28日 円安リスクの点検〜円高のメインシナリナを揺るがすもの〜 2019年1月25日 週末版(EOB政策理事会を終えて〜「年内利上げ無し」を暗に認めたドラギ総裁〜) 2019年1月24日 日鏡金融政策決定会合を受けて〜「願望」する難しい状況に〜 2019年1月22日 空調なユーロ相場の背景にある欧州の滅速 2019年1月21日 対米貿易黒字ゼロ計画について〜マッチポンプは終わらず〜 2019年1月18日 週末版(正常化どころではないECBを取り巻く近況〜市場のメインシナリオは転換済み〜) 2019年1月17日 英国情勢の論点整理〜「社大な茶番劇」に終わるか〜 2019年1月17日 週末版 2019年1月17日 日報金融公前の論点を理〜「社大な茶番劇」に終わるか〜 2019年1月17日 フィブルは崩れてからがパブル」という考え方について 2019年1月7日 フィブルは崩れてからがパブル」という考え方について 2019年1月7日 3つの論点で要約する19年見通し 2018年12月27日 3つの論点で要約する19年見通し 2018年12月27日 3つの論点で要約する19年見通し 2018年12月27日 週末版(FOMCを終えて〜新局面への第一歩、為替への影響は〜) 2018年12月17日 2019年、日米欧のテールリスクはどここあるのか? 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年11月分) 2018年12月18日 2019年、日米欧のテールリスクはどここあるのか? 2018年12月1日 2019年、日米欧のテールリスクはどここあるのか? 2018年12月1日 2019年、日米欧のテールリスクはどここあるのか? 2018年12月1日 2019年、日米日の第一歩、為替への影響は〜) 2018年12月1日 2019年、日米日のデールドの真価が現れる年〜 2018年12月1日 2019年、世界経済の勘所へ利上げの真価が現れる年〜 2018年12月1日 2019年、日来経済のも断所へ利上げの真価が現れる年〜 2018年12月1日 2019年、日来経済の助所へ利上げの真価が現れる年〜 2018年12月1日 2019年、日来日の東京は上がアルを通用に追随する株価〜 2018年12月1日 2019年、日来日の東京は上がアルを通用に追随する株価〜 2018年12月3日 米中首脳会談〜2020年まで続きそうな「社大なマッチボンブ」〜 米中首脳会談〜2020年まで続きそうな「社大なマッチボンブ」〜 2018年12月3日 米中首脳会談〜2020年まで続きそうな「社大なマッチボンブ」〜		
2019年1月29日		
2019年1月28日 円安リスクの点検~円高のメインシナリオを揺るがすもの~ 2019年1月25日 週末版(ECB政策理事会を終えて~「年内利上げ無し」を暗に認めたドラギ総裁~) 2019年1月22日 堅調なユーロ相場の背景にある欧州の滅速 2019年1月21日 対米貿易黒字ゼロ計画について~マッチポンプは終わらず~ 2019年1月18日 週末版(正常化どころではないECBを取り巻く近況~市場のメインシナリオは転換済み~) 2019年1月17日 英国情勢の論点整理~「壮大な茶番劇」に終わるか~ 2019年1月17日 週末版 2019年1月17日 週末版 2019年1月17日 2019年1月17日 2019年1月17日 波乱の嘉開けの読み方~褚突猛進の円高スタート~ 2019年1月4日 波乱の嘉開けの読み方~褚突猛進の円高スタート~ 2018年12月27日 3つの論点で要約する19年見通し 2018年12月21日 週末版(FOMCを終えて~新局面への第一步、為替への影響は~) 2018年12月19日 FOMCを約て、が局面への第一步、為替への影響は~) 2018年12月19日 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月11日 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月11日 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月11日 2019年、世界経済の制所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月11日 2019年、世界経済の制所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月11日 2019年、世界経済の制所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月11日 2019年、世界経済の制所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月1日 2019年、世界経済の制所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月1日 2019年、世界経済の制所~利上がの責価が現れる年~ 2018年12月18日 2018年12月19日 週末版 2018年12月19日 2018年12月1日 2019年、世界経済の制所~利上がの責価が現れる年~ 2018年12月1日 2018年12月1日 2019年、世界経済の制所~利上がの責価が現れる年~ 2018年12月1日 2018年12月1日 2019年、東京を上た逆イールド~金利に追随する株価~ 2018年12月1日		
2019年1月25日 週末版(ECB政策理事会を終えて~「年内利上げ無し」を暗に認めたドラギ総裁~) 2019年1月22日 壁調なユーロ相場の背景にある欧州の減速 2019年1月21日 対米貿易黒字ゼロ計画について~マッチボンプは終わらず~ 2019年1月18日 週末版(正常化どころではないECBを取り巻く近況~市場のメインシナリオは転換済み~) 2019年1月17日 英国情勢の論点整理~「壮大な茶番劇」に終わるか~ 2019年1月17日 英国情勢の論点整理~「壮大な茶番劇」に終わるか~ 2019年1月11日 週末版 2019年1月1日		
2019年1月24日 日銀金融政策決定会合を受けて~「願望」すら難しい状況に~ 2019年1月21日 対米貿易黒字ゼロ計画について~マッチポンプは終わらず~ 2019年1月18日 週末版 (正常化どころではないECBを取り巻く近況~市場のメインシナリオは転換済み~) 2019年1月17日 英国情勢の論点整理~「壮大な茶番劇」に終わるか~ 2019年1月17日 週末版 2019年1月17日		
2019年1月22日 空調なユーロ相場の背景にある欧州の減速 2019年1月21日 対米貿易黒字ゼロ計画について~マッチポンプは終わらず~ 2019年1月18日 週末版(正常化どころではないECBを取り巻く近況~市場のメインシナリオは転換済み~) 2019年1月17日 英国情勢の論点整理~「壮大な茶番劇」に終わるか~ 2019年1月17日 週末版 2019年1月17日 週末版 2019年1月17日 週末版 2019年1月17日 1/7プルは崩れてからがいプル」という考え方について 2019年1月17日 次北の幕開けの読み方~猪突猛進の円高スタート~ 2018年12月2日 3つの論点で要約する19年見通し 2018年12月2日 3つの論点で要約する19年見通し 2018年12月2日 週末版(FOMCを終えて~新局面への第一歩、為替への影響は~) 2018年12月19日 FOMCを前に読みたい自川元日銀総裁インタビュー本 本部個人投資家の対外資金プロー動向(2018年11月分) 2018年12月14日 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月14日 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月11日 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月11日 2019年、世界経済の勘所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月11日 2019年、世界経済の勘所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月10日 動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月5日 選末版 ②18年12月5日 選定発生した逆イールド~金利に追随する株価~ 2018年12月3日 家に発生した逆イールド~金利に追随する株価~ 2018年12月3日 次リ暴動の読み方~2つの懸念~ 2018年12月3日 米中首脳会談~2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」~		
2019年1月21日 対米貿易黒字ゼロ計画について~マッチポンプは終わらず~ 2019年1月18日 週末版(正常化どころではないECBを取り巻く近況~市場のメインシナリオは転換済み~) 2019年1月11日 選末版 英国情勢の論点整理~「壮大な茶番劇」に終わるか~ 2019年1月11日 週末版 対界トップの相場観と静か過ぎる「波」 2019年1月1日 波乱の幕開けの読み方~若突猛進の円高スタート~ 2018年12月2日 波乱の幕開けの読み方~若突猛進の円高スタート~ 2018年12月2日 月下日 大びルは崩れてからが、ブル」という考え方について 2018年12月2日 アの論点で要約する19年見通し 2018年12月2日 週末版(FOMCを終えて~新局面への第一歩、為替への影響は~) 2018年12月1日 週末版(FOMCを終えて~新局面への第一歩、為替への影響は~) 2018年12月1日 2019年、日米股のテールリスクは歩ごにあるのか? 2018年12月1日 2019年、日米股のテールリスクは歩ごにあるのか? 2018年12月1日 2019年、世界経済の勘所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月1日 2019年、世界経済の勘所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月1日 数き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月7日 週末版(ECB政策理事会を終えて~「高まる警戒」と「続く自信」~) 2018年12月1日 数き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月1日 数き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月5日 遂に発生した逆イールド~金利に追随する株価~ 2018年12月3日 遂に発生した逆イールド~金利に追随する株価~ 2018年12月3日 米中首脳会談~2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」~		
2019年1月18日		
2019年1月11日 週末版 2019年1月8日 財界トップの相場観と静か過ぎる「波」 2019年1月7日 「バブルは崩れてからがバブル」という考え方について 2019年1月4日 波乱の幕開けの読み方〜猪突猛進の円高スタート〜 2018年12月2日 3つの論点で要約する19年見通し 2018年12月25日 FRB議長解任騒動について〜正真正銘のリスクオフを前に〜 2018年12月21日 週末版 (FOMCを終えて〜新局面への第一歩、為替への影響は〜) 2018年12月19日 「FOMCを前に読みたい白川元日銀総裁インタビュー 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年11月分) 2018年12月17日 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月18日 週末版 (ECB政策理事会を終えて〜「高まる警戒」と「続く自信」〜) 2018年12月11日 ECB政策理事会を終えて〜「高まる警戒」と「続く自信」〜) 2018年12月11日 ECB政策理事会プレビュー〜再投資方針の行方〜 2018年12月11日 財勢告出上た「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月7日 週末版 2018年12月5日 遂に発生した逆イールド〜金利に追随する株価〜 2018年12月4日	2019年1月18日	
2019年1月8日 財界トップの相場観と静か過ぎる「波」 2019年1月7日 「バブルは崩れてからがいブル」という考え方について 2019年1月4日 波乱の幕開けの読み方〜猪突猛進の円高スタート〜 2018年12月2日 3つの論点で要約する19年見通し 2018年12月25日 FRB議長解任騒動について〜正真正銘のリスクオフを前に〜 2018年12月1日 週末版 (FOMCを終えて〜新局面への第一歩、為替への影響は〜) 2018年12月19日 FOMCを前に読みたい自川元日銀総裁インタビュー 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年11月分) 2018年12月17日 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月17日 週末版 (ECB政策理事会を終えて〜「高まる警戒」と「続く自信」〜) 2018年12月17日 2019年、世界経済の勘所〜利上げの真価が現れる年〜 2018年12月11日 医CB政策理事会がレビュー〜再投資方針の行方〜 2018年12月1日 動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月7日 週末版 2018年12月7日 週末版 2018年12月7日 第6第年12月3日 ※に発生したデルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月7日 3年版 ※に発生したデルケル後の読み〜〜		
2019年1月7日 「バブルは崩れてからがバブル」という考え方について 2019年1月4日 波乱の幕開けの読み方〜常突猛進の円高スタート〜 2018年12月27日 3つの論点で要約する19年見通し 2018年12月21日 週末版(FOMCを終えて〜新局面への第一歩、為替への影響は〜) 2018年12月19日 FOMCを前に読みたい自川元日銀総裁インタビュー 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年11月分) 2018年12月17日 2019年、日米敗のテールリスクはどごにあるのか? 2018年12月17日 週末版(ECB政策理事会を終えて〜「高まる警戒」と「続く自信」〜) 2018年12月17日 2019年、世界経済の勘所〜利上げの真価が現れる年〜 2018年12月11日 ECB政策理事会プレビュー〜再投資方針の行方〜 2018年12月11日 関末版(ECB政策理事会で表記では、現立の行方〜 2018年12月11日 図末版(国民政策理事会で表記では、現立の行方〜 2018年12月11日 図末版(国民政策理事会で表記では、現立の行方〜 2018年12月1日 関末版(国民政策理事会で表記では、日本政政・日本政政・日本政政・日本政政・日本政政・日本政政・日本政政・日本政政		
2019年1月4日 波乱の幕開けの読み方〜猪突猛進の円高スタート〜 2018年12月27日 3つの論点で要約する19年見通し 2018年12月26日 FRB議長解任騒動について〜正真正銘のリスクオフを前に〜 2018年12月21日 週末版 (FOMCを終えて〜新局面への第一歩、為替への影響は〜) 2018年12月19日 FOMCを前に読みたい白川元日銀総裁インタビュー 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年11月分) 2018年12月17日 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月17日 週末版 (ECB政策理事会を終えて〜「高まる警戒」と「続く自信」〜) 2018年12月12日 2019年、世界経済の勘所〜利上げの真価が現れる年〜 2018年12月10日 数き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月7日 週末版 (全国政策理事会を終えて〜「高まる警戒」と「続く自信」〜) 2018年12月10日 数さ出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月7日 週末版 (全国政策理事会で経済を発展を対してEU) 2018年12月1日 次リ暴動の読みテ〜2つの懸念〜 2018年12月1日 米中首脳会談〜2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」〜		
2018年12月27日 3つの論点で要約する19年見通し 2018年12月25日 FRB議長解任騒動について~正真正銘のリスクオフを前に~ 2018年12月1日 週末版 (FOMCを終えて~新局面への第一歩、為替への影響は~) 2018年12月19日 FOMCを前に読みたい白川元日銀総裁インタビュー本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年11月分) 2018年12月17日 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月14日 週末版 (ECB政策理事会を終えて~「高まる警戒」と「続く自信」~) 2018年12月11日 ECB政策理事会を終えて~「高まる警戒」と「続く自信」~) 2018年12月11日 世の19年、世界経済の勘所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月1日		
2018年12月25日 FRB議長解任騒動について〜正真正銘のリスクオフを前に〜 2018年12月1日 週末版 (FOMCを終えて〜新局面への第一歩、為替への影響は〜) 2018年12月19日 FOMCを前に読みたいら川元日銀総裁インタビュー 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年11月分) 2018年12月17日 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月14日 週末版 (ECB政策理事会を終えて〜「高まる警戒」と「続く自信」〜) 2018年12月11日 2019年、世界経済の勘所〜利上げの真価が現れる年〜 2018年12月11日 医欧策理事会プレビュー〜再投資方針の行方〜 2018年12月10日 動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月5日 週末版 2018年12月5日 選に発生した逆イールド〜金利に追随する株価〜 2018年12月4日 パリ暴動の読み方〜2つの懸念〜 2018年12月3日 米中首脳会談〜2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」〜		
2018年12月1日 週末版(FOMCを終えて~新局面への第一歩、為替への影響は~) 2018年12月19日 FOMCを前に読みたい自川元日銀総裁インタビュー 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年11月分) 2018年12月17日 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月14日 週末版(ECB政策理事会を終えて~「高まる警戒」と「続く自信」~) 2018年12月12日 2019年、世界経済の勘所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月11日 ECB政策理事会プレビュー~再投資方針の行方~ 2018年12月10日 動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月5日 選に発生したジイールド~金利に追随する株価~ 2018年12月5日 遂に発生したジイールド~金利に追随する株価~ 2018年12月4日 パリ暴動の読み方~2つの懸念~ 2018年12月3日 米中首脳会談~2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンブ」~		
2018年12月19日 FOMCを前に読みたい白川元日銀総裁インタビュー 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年11月分) 2018年12月17日 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月18日 週末版(ECB政策理事会を終えて〜「高まる警戒」と「続く自信」〜) 2018年12月12日 2019年、世界経済の勘所〜利上げの真価が現れる年〜 2018年12月11日 ECB政策理事会プレビュー〜再投資方針の行方〜 2018年12月10日 動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月5日 遠に発生した逆イールド〜金利に追随する株価〜 2018年12月5日 遂に発生した逆イールド〜金利に追随する株価〜 2018年12月4日 米中首脳会談〜2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」〜		
本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年11月分) 2018年12月17日 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月14日 週末版(ECB政策理事会を終えて〜「高まる警戒」と「続く自信」〜) 2018年12月12日 2019年、世界経済の勘所〜利上げの真価が現れる年〜 2018年12月1日 ECB政策理事会プレビュー〜再投資方針の行方〜 2018年12月1日 動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月7日 週末版 2018年12月5日 遂に発生した逆イールド〜金利に追随する株価〜 2018年12月4日 パリ暴動の読み方〜2つの懸念〜 2018年12月3日 米中首脳会談〜2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」〜		
2018年12月17日 2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか? 2018年12月14日 週末版 (ECB政策理事会を終えて~「高まる警戒」と「続く自信」~) 2018年12月12日 2019年、世界経済の勘所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月11日 ECB政策理事会プレビュー~再投資方針の行方~ 2018年12月10日 動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月7日 週末版 2018年12月5日 遂に発生した逆イールド~金利に追随する株価~ 2018年12月4日 パリ暴動の読み方~2つの懸念~ 2018年12月3日 米中首脳会談~2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」~		
2018年12月14日 週末版(ECB政策理事会を終えて~「高まる警戒」と「続く自信」~) 2018年12月12日 2019年、世界経済の勘所~利上げの真価が現れる年~ 2018年12月11日 ECB政策理事会プレビュー~再投資方針の行方~ 2018年12月10日 動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月7日 週末版 2018年12月5日 遂に発生した逆イールド~金利に追随する株価~ 2018年12月4日 パリ暴動の読み方~2つの懸念~ 2018年12月3日 米中首脳会談~2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」~		
2018年12月12日 2019年、世界経済の勘所〜利上げの真価が現れる年〜 2018年12月11日 ECB政策理事会プレビュー〜再投資方針の行方〜 2018年12月10日 動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月5日 遠に発生した逆イールド〜金利に追随する株価〜 2018年12月4日 パリ暴動の読みナ〜2つの懸念〜 2018年12月3日 米中首脳会談〜2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」〜		
2018年12月11日 ECB政策理事会プレビュー〜再投資方針の行方〜 2018年12月10日 動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月7日 週末版 2018年12月5日 遂に発生した逆イールド〜金利に追随する株価〜 2018年12月4日 パリ暴動の読み方〜2つの懸念〜 2018年12月3日 米中首脳会談〜2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」〜		
2018年12月10日 動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU 2018年12月7日 週末版 2018年12月5日 送に発生した逆イールド〜金利に追随する株価〜 2018年12月4日 パリ暴動の読み方〜2つの懸念〜 2018年12月3日 米中首脳会談〜2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」〜		
2018年12月7日 週末版 2018年12月5日 遂に発生した逆イールド〜金利に追随する株価〜 2018年12月4日 パリ暴動の読み方〜2つの懸念〜 2018年12月3日 米中首脳会談〜2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」〜		
2018年12月5日 遂に発生した逆イールド〜金利に追随する株価〜 2018年12月4日 パリ暴動の読み方〜2つの懸念〜 2018年12月3日 米中首脳会談〜2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」〜		
2018年12月4日 パリ暴動の読み方~2つの懸念~ 2018年12月3日 米中首脳会談~2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」~		
2018年12月3日 米中首脳会談~2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」~		
2018年11月30日 週末版	2018年11月30日	週末版
2018年11月28日 メインシナリオへのリスク点検~FRBは来年こそ変わる~		